# 全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

〔第3種郵便物認可〕　毎日新聞　2014年(平成26年)12月6日(土)　企画特集　24

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

## 「考える楽しみ」を語る

世の中を楽しくさせる商品やサービス、ビジネスモデルなどを高校生の視点から提案する「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」（大阪商業大学、毎日新聞社主催）の第13回大会の最終審査と表彰式が13日、東大阪市の同大学で開かれる。それを前に、前回グランプリ獲得の愛知県立豊橋工業高校の元研究班を代表して野沢祥太さん（当時3年）と指導した小久保寿也教諭、同大学が実学教育の一環としてさらにレベルアップした形で開催している「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」で前回、東大阪商工会議所会頭賞を受賞した同大学経済学部4年の田代翔太さん、連携して商品化した旭電機化成（大阪市東成区）の原守男専務――の4人に集まってもらい、谷岡一郎学長とともに、ビジネスアイデアを考える楽しみや意味について語り合ってもらった。【中川博史】

### 前回受賞者ら迎え座談会

愛知県立豊橋工業高校卒業生　野沢祥太さん
大阪商業大学経済学部経済学科4年　田代翔太さん
愛知県立豊橋工業高校　小久保寿也教諭
旭電機化成　原守男専務
大阪商業大学　谷岡一郎学長





ビジネスアイデアを考える楽しさなどについて話し合う参加者＝大阪市北区のキュリオ・シティで、中川博史撮影

小久保寿也（こくぼ・としや）
愛知県立豊橋工業高校教諭、同校工務主任。模型部の顧問も務める。同校は1944年に開校。卒業生は2万人を超える。

**学長**　（発言者の敬称略）早速ですが、田代君の作品「マグネット反射ウペン」はいつ、どのような形で考えつきました？

**田代**　去年の5月ごろのことですが、ビジネス・アイデアコンテストにどういう作品を応募しようかと考えていた時に、自動車免許証の更新講習があって「高齢者の事故が多発しているので、気をつけてほしい」という話を聞いたんです。その時、「何とか事故を防げないものかなあ」と考えたのがきっかけです。その後、コンテストの一次審査を通過し、ブラッシュアップ講座に原専務が講師として来られていたので、いろいろと相談しました。

**学長**　野沢君の、風で飛びにくい皿「AERO DISH」の場合はどうですか？

**野沢**　はい、私は自分の体験からなんですが、普段からバーベキューをする時、お皿が風で飛んでしまうのに困っていたので「みんなも困っているはず！何とかならないかな」と思いました。

**学長**　でも、困るのはみんな一緒でじゃあ解決策を」とは、なかなかならないですよね。

**野沢**　夏休みで、みんな集まっていたので「アイデアを出し合えばできるんじゃない？」と考えました。ちょうど、アイデア商品のことを考えていた時期でもありました。

**学長**　小久保先生にはかなり相談しましたか？　本番のプレゼンテーション自体も、とても素晴らしかったと印象に残っています。

**小久保**　いつもならパワーポイントを使ったスライド形式の発表が多いのですが、風で飛んでしまうという"動き"があるのだから、実験段階も含めて、今回は動画でやってみようか、というアドバイスはしました。

**学長**　テレビ番組で放送されてから、話題になったのではないかと思います。アウトドアの盛んなアメリカでも需要があるのではないかなと思いますね。

**野沢**　評判はよかったですし、商品のことをよく知ってもらうことができました。ただ、まだ生産量が少ないので、価格を低く抑えることが難しいという問題があります。来年には、生産量も増えるのでコストダウンが可能になると思います。そうすると、もっと買ってもらえるだろう、と期待しています。

**学長**　原さんは、田代君のアイデアにかなり、ダメ出しをしましたか？

**原**　まず「可能性はあるな」と感じました。後は、どうアレンジしたらいいのか、私が部署考えてしまってはいけないので、田代君とは計11回、打ち合わせをしました（笑い）。

**学長**　小久保先生は、いかがでした？

**小久保**　学校では、班別になってグループワークで授業を進めています。生徒たちのアイデアをその場で形にしました。基本的なイメージは変わっていません。

**学長**　商品化するとなると、コストも考えなければなりませんね。

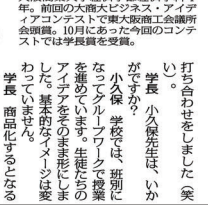
**原**　打ち合わせを重ねてアイデアを突き詰めていくと、自動的に商品化へ導かれます。当社では年間40～50件の新商品を出しているのですが、その都度、あらゆる課題をクリアして、ここまでやってきました。ただし、値段の壁はデザインの壁である、ということは確かに言えると思います。



谷岡一郎（たにおか・いちろう）
大阪商業大学学長、総合経営学部教授。主な著書に『ツキの法則』（PHP新書）や『データはウソをつく』（筑摩書房）など。



原守男（はら・もりお）　旭電機化成専務。会社は1950年設立。SMILE KIDSマークをキャラクターに、自社オリジナル商品の開発に取り組む。



田代翔太（たしろ・しょうた）
大阪商業大学経済学部経済学科4年。前回の大商大ビジネス・アイディアコンテストで東大阪商工会議所会頭賞。10月にあった今回のコンテストでは学長賞を受賞。

## 日常の疑問、不満をきっかけに

## どんどん発信、アドバイスが力



野沢祥太（のざわ・しょうた）
愛知県立豊橋工業高校卒業生。仲間4人とともに応募した第12回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園でグランプリを受賞。現在、会社員。

**学長**　田代君や野沢君は、どのような時にアイデアが浮かんできますか。

**田代**　私は日常的に出来事の中からアイデアが出てきます。考えよう考えようとタメで"不満に思った時に、その不満を解消できないか、という感じでしょうか。答えを探すと、まず見つかりません。

**野沢**　私も日常生活の中で、アイデアが浮かびできます。それで、自分の考え方を周りの人に聞いてもらいます。

**学長**　私が学生によく言うのは「考える癖をつけていない人は、アイデアを持っていても、チャンスを見逃してしまう」ということです。体験の中で不便に思ったことがあったら、メモを取る。そして実現・発表につなげていく。いう癖をつけるために、1日に1時間は携帯電話やスマートフォンの電源をOFFにする。風景を見ていてもいいし、電車の中を観察していてもいい。それを繰り返すことでチャンスをものにできるんです。

**原**　私たちの会社は99カ所に「どうかな」と展開符がついても1カ所に魅力があり、あるいは光るところのある商品を追いかけていく方針を持っています。年間何百件というアイデアの持ち込みがあり、それが可能性を秘めている。

**小久保**　授業では、考える力を伝える力になるように訓練しています。もちろん授業なので一定の強制力があって、私は「週間に一つはアイデアを提案しなさい」と指導しています。

**原**　アイデアというものは、生徒たちは実は既に持っていると思うんです。つまり可能性を持っている。恥ずかしがるのではなく、みんながいる前でそのアイデアを発表する。そうした試みが、次世代の田代君たちを生んでいくはずです。

**野沢**　私もアウトプットしていく場が重要だと考えています。そうするとさまざまな視点からのアドバイスがもらえます。

**田代**　私は3年間、大学ではほとんどほったらかしでしたが、受賞を機に「頑張れば、そのくらいの分量でできる」と考えられるようになりました。今後もどんどん成長していくことができると思っています。

**学長**　若い時の失敗は、何度したっていいんです。失敗の重ねりが、いい顔をつくると私は考えています。逆に40年間、失敗がなかった人には「チャレンジが足りないよ」と言いたいですね。今、はやっているNHKの連続テレビ小説「マッサン」ではないですが「やってみなはれ」の精神が大事です。人はいくらでも変わっていくことができます。変わる努力をしましょう、そのきっかけが、全国高等学校ビジネスアイディア甲子園であったり、大商大ビジネス・アイディアコンテストであったりしたら、これほど幸せなことはありません。



今年6月にオープンしたキュリオ・シティ
＝学校法人谷岡学園のホームページより

谷岡学園梅田サテライトオフィス　キュリオ・シティ

今回、盛況の会場となった校法人谷岡学園梅田サテライトオフィス「CURIO-CITY（キュリオ・シティ）」（大阪市北区）は、6月にオープンしたばかり。グランフロント大阪タワーA（南館）に教育機関が入居するのは初めてのケース。

オフィスは18階を拠点に、①谷岡学園が運営する大阪商大商大・神戸芸術工科大・大阪女子短大の就職支援講座の企画・開催②在学生、卒業生、教職員を対象にした教育・研究活動の場の提供やイベント、履歴書の実施の就職活動サポートとして会社説明会や就職支援講座の企画・開催の地域を対象とした生涯学習講座の開催や地域の問題解決、活性化を念頭に置いた産学連携事業――などを実施する。

「CURIO」は、同学園が運営するCOLLEGE-CITY（大阪女子短期大学）とUNIVERSITY（大阪商業大学、神戸芸術工科大学）をCENTER（中心）とした各学校が教育や研究（RESEARCH）を通じ、新たな変革（INNOVATION）を生み出していくことを目的としたオフィス。

### 好奇心伸ばし変革生む

（OFFICE）となることを願って頭文字を取った。さらに、学生や教職員が集い、一つの街（CITY）のように発展していきたいという意味を込めた。

同学園理事長でもある谷岡一郎学長は「サテライトオフィスを新しい知の発信の場、多くの人が学べる場にしたい」としている。


第13回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

第3次(最終)審査&表彰式　入場無料・事前申込不要

日時　2014年12月13日(土)　12:00～14:45(開場11:30)

会場　大阪商業大学　ユニバーシティホール蒼天

第3次(最終)審査にノミネートされた応募者自身によるプレゼンテーションが行われます。
高校生の自由な発想によるビジネスアイディアの発表と情熱あふれる姿をぜひ会場にてご覧ください。
また、ゲスト審査員による記念講演も予定しています。

記念講演
講演タイトル　商品創りの面白さ ～バーモントカレーを事例に～
記念講演講師　ハウス食品株式会社 事業戦略本部 食品事業一部長
宮奥 美行氏
1960年大阪府生まれ。1983年ハウス食品入社。研究所、食品分析を経て、現在、事業戦略本部にてバーモントカレーやジャワカレーなどのカレー事業に取組む。

第3次(最終)審査対象アイディア　※順不同
3R rice seasoning　北海道富良野緑峰高等学校 2年【グループ名】短パンこぞう【代表者】相澤 拓弥さん
自転車の新しい鍵前　広尾学園中学校・高等学校 1年　真鍋 光希さん
Acle　東京都立六郷工科高等学校 3年　佐藤 光さん
風で飛ばない紙コップ「フンバルンバ！」(飛ばないシリーズ第二弾!!)　愛知県立豊橋工業高等学校 3年【グループ名】橋工idea man's【代表者】小出 和輝さん・星野 武朗さん・小瀬木 柱一郎さん
ふせんコロコロ　大阪府立貝塚高等学校 3年【グループ名】コロコロ隊【代表者】北村 日向子さん・伊佐治 央子さん
代わりに話すインターホン　大阪府立八尾北高等学校 1年　喜多 光瑠さん
ファストフード店のドリンクのフタのアイデア　大阪商業大学高等学校 2年　西田 賢司さん
割り箸用バリアフリー箸クリップ　岡山県立岡山東高等学校 3年　物部 祐季さん

お問い合わせ
大阪商業大学 リエゾンセンター
社会連携・研究支援課
〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
Phone:06-6785-6262　FAX:06-6785-6156
E-mail liaison@oucow.daishodai.ac.jp
URL http://ouc.daishodai.ac.jp/liaison/
最新情報はホームページで更新していきますのでご確認ください
【アクセス】近鉄奈良線「河内小阪駅」徒歩5分
大阪商業大学 Osaka University of Commerce

【主催】大阪商業大学　毎日新聞社　【後援】経済産業省、大阪府、大阪府教育委員会、東大阪市、東大阪市教育委員会、大阪市教育委員会、全国商業高等学校協会


※毎日新聞社の許諾を得て転載しています。